

目標達成計画

作成日: 平成27年 1月13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	医療連携体制整備後、3名亡くなられたが何れも病院で最後を迎えられた。 現在、2名の方が何度か入院かホーム内治療かの判断をしホーム内治療で対応してきた。このような経過を踏まえ家族も入院しない意思を強くしている。従って最後までホームで対応する事が身近になっている。	入院せずにホーム内で最後まで対応する事を目標とする。	1.家族との意思疎通と協力体制 2.家族及び関係職種間の方針統一 3.介護・訪問診療・訪問看護との連携 4.緩和ケア	未定
2	36-38	レビー小体型認知症の方が入所し3ヶ月が経ち、幻覚等は多少あるものの大きな興奮等に至らず穏やかに過ごされている。しかし以前の施設では対応が難しかったようで、当ホームでもレビー小体型認知症の方は初めてで他の方よりも記憶の保持もあり趣味等も楽しませているが、この状態が維持出来る様に注意深くケアしていく必要がある。	まだ3ヶ月で遠慮等もある。これからホームでの生活にも慣れ、他の認知症と違った症状が出て、出来るだけ好きな趣味やレクリエーション、家事等を通して穏やかで自分らしい生活を営んでいく事を目標とする。	1.レビー小体型認知症ケアを頭だけの理解から、実践を通して活かしたケアを目指す 2.ご家族との協力体制 3.他GH間での意見交換や書籍・講習等の情報収集	9ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。